



2014 年 6 月 20 日

2014 年度 豊岡市政策モニタリング調査 報告書

株式会社 公共経営・社会戦略研究所



2014 年度 豊岡市政策モニタリング調査 報告書

<目 次>

図表一覧	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1. 調査概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
2. 調査結果	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2.1 回答者の属性	・・・・・・・・・・・・・・・・	4
2.2 「安全・安心のまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2.3 「健康長寿のまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
2.4 「環境に優しいまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	11
2.5 「おもてなし観光のまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
2.6 「交通の便利なまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	15
2.7 「子育てに優しいまち」	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
3. 参考データ	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
4. テクニカル・ノート	・・・・・・・・・・・・・・・・	41
5. 調査票		

図表一覧

図1：【問2】あなたの年齢は？	4
図2：【問3】あなたの職業は？	4
図3：【問4】あなたがお住いの小学校区は？	4
図4：【問5】あなたの同居家族の構成は？	4
図5：【問6】災害時「住民同士の助け合い行動」がとれるか？	5
図6：【問7】区の防災訓練に参加したことがあるか？	5
図7：防災訓練不参加者の年齢構成	6
図8：防災訓練不参加者の意識「助け合い行動ができる」	6
図9：【問8】災害への備えを実践しているか？	6
図10：「区で防災訓練を行っていない」と回答した市民の割合	7
図11：【問9】あなたは自分が健康だと思うか？	8
図12：【問10】健康づくりのために心がけていることは？	8
図13：【問11】健康のために運動をしているか？	8
図14：【問12】その運動はどれくらい継続しているか？	8
図15：【問13】一緒に健康づくりをする仲間がいるか？	9
図16：【問14】健康づくりの環境が整っていると思うか？	9
図17：健康づくりの要因	10
図18：【問15～19】「環境に優しいまち豊岡」についての意見	11
図19：【問20～23】「おもてなし観光のまち豊岡」についての意見	13
図20：【問24】豊岡市の魅力的な観光資源は？	14
図21：【問25】豊岡市の公共交通は便利か？	15
図22：【問26】公共交通を使うよう心がけているか？	15
図23：世代別「豊岡市の公共交通は便利だ」と感じる市民の割合	15
図24：地域別「豊岡市の公共交通は便利だ」と感じる市民の割合	16
図25：地域別「公共交通を使うよう心がけている」市民の割合	16
図26：【問27】世代別・最も必要な公共交通は？	16
図27：【問27】地域別・最も必要な公共交通は？	17
図28：【問28】ビジネス・レジャーの主な移動手段は？	17
図29：【問29】豊岡市は子育てに優しいまちか？	18
図30：【問30】子育て支援に関わってみたいか？	18
図31：世帯別「豊岡市は子育てに優しいまちか？」	19
図32：世帯別「子育て支援に関わってみたいか？」	19
図33：【問31】子育て支援サービスを活用しているか？	19
図34：【問32】子育てを楽しんでいるか？	19
図35：世帯別「子育て支援サービスを活用しているか？」	20
図36：世帯別「子育てを楽しんでいるか？」	20
表1：相関関係（健康）	9
表2：相関関係（環境）	12

1. 調査概要

1. 1 調査の背景

豊岡市では、2013 年度より、より実効性の高い新たな政策評価の試みとして、「協働型プログラム評価」を導入した。この政策評価の一環として、下記に挙げる6つの取り組みについて、モニタリング調査を行った。

- ① 安全・安心のまち
- ② 健康長寿のまち
- ③ 環境に優しいまち
- ④ おもてなし観光のまち
- ⑤ 交通の便利なまち
- ⑥ 子育てに優しいまち

モニタリングの初年度となる本年の調査は、今後の変化を経過観察するための「ベースライン調査」として位置づけられる。来年度以降も、同時期（4 月中旬ごろ）に同じ調査票を用いて調査を行い、ベースラインとの比較分析を行う予定である。

1. 2 調査の目的

本年度のベースライン調査としての主な目的は、以下の 2 点である。

- ・ 6つの取り組み分野における市民の意識・行動に関する現状を把握すること
- ・ 6つの取り組み分野における市民のニーズを分析すること

また、来年度以降のモニタリング調査では、次の 2 点を目的とする。

- ・ 過去一年間の取り組みの成果と進捗状況を把握し、改善に向けての方策を検討するための材料とすること（プロセス評価）
- ・ 次年度の政策形成に向けて、市民のニーズを分析し、次年度の戦略体系図のロジックを批判的に検討するための材料とすること（セオリー評価）

1. 3 本年度の調査の概要

18 歳以上の豊岡市民の中から、小学校区毎の層別抽出法にて、3,000 人を無作為に抽出し、アンケート用紙を郵送した。

4 月 17 日に市役所内の「調査票作成に関わっていない職員」14 名を対象にパイロットテストを実施し、想定された所要時間（10 分）が適正かどうかを確認すると同時に、質問文の表現などの最終校正を行った。4 月 24 日に 3,000 人の対象者にアンケートを送付した。5 月 7 日の締め切りから 1 週間の猶予期間を経て、5 月 14 日に回答の受付けを締め切り、14 日時点での回収数を最終回答数とした。最終的な回答数は 1,362 票（うち白紙回答 4 票）、回答率は 45.4%（有効回答率 45.3%）であった。

なお、本調査の企画設計、データ・セットの作成と集計・分析、報告書原案の作成については、当社客員研究員の明治大学ガバナンス研究科 北大路信郷教授と、同ガバナンス研究科 源由理子教授、米原あき助教から支援を頂いている。特に本調査全般について、専門社会調査士である米原氏にご尽力頂いた。

2. 調査結果

本章では、調査票から得られたデータの記述と分析を行う。各質問項目の記述統計については、「3. 参考データ」に度数テーブルを掲載してあるので、随時参照されたい。また、短時間で概要を把握して頂くため、2.2～2.7の主要政策ごとに【要点】と【プロセス評価に向けての指針(案)】を箇条書きにまとめてある。報告書内で用いられている、相関分析、t検定などの統計分析の説明については、「4. テクニカル・ノート」を参照されたい。

2. 1 回答者の属性

回答者の男女比は、男性 43%、女性 57%であった【問1】。年齢【問2】と職業【問3】は下図のように分布しており、60代以上の高齢者と主婦・会社員からの回答が多かった。小学校区ごとの回答数は下図【問4】のとおりである。また、回答者の家族形態は、「夫婦のみ（24%）」「夫婦と子ども（22%）」で全体の半数近くを占めており、小学生以下の子どもがいると回答した市民の平均子ども数（小学生以下）は、1.9人であった【問5】。

図1: 【問2】 あなたの年齢は？

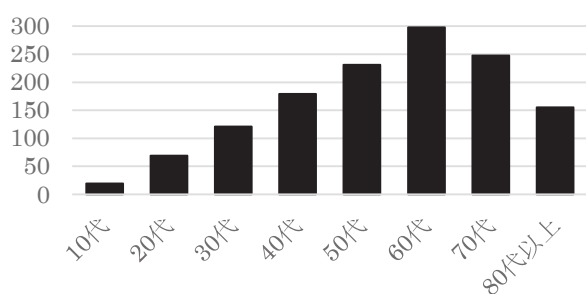


図2: 【問3】 あなたの職業は？

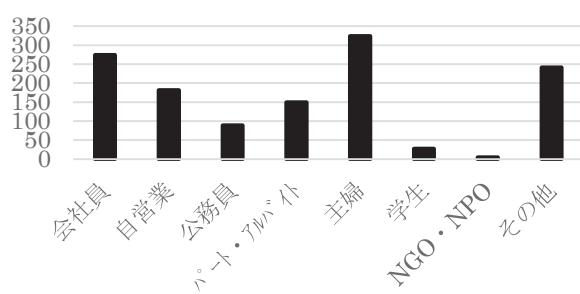


図3: 【問4】 あなたがお住いの小学校区は？

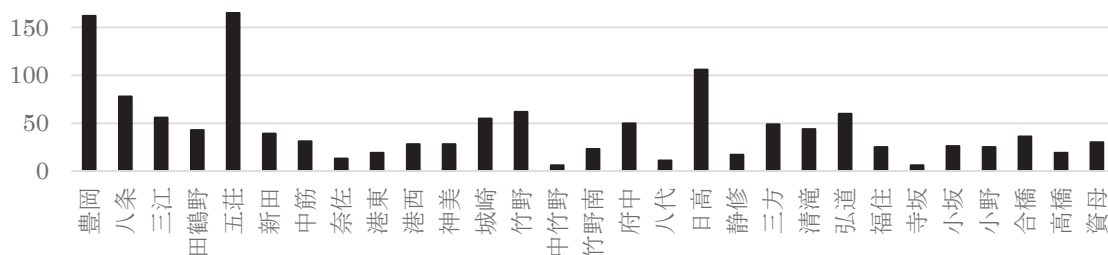
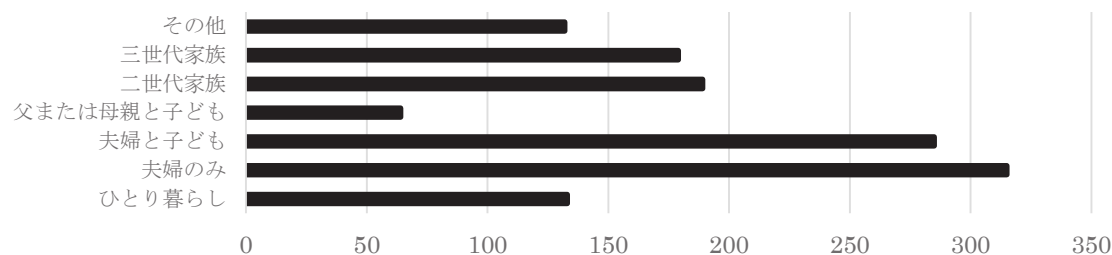


図4: 【問5】 あなたの同居家族の構成は？



2. 2「安全・安心のまち」

【要点】

- ・「助け合い行動」に対する意識と、防災訓練への参加経験の間には統計的に有意な関係がある。
- ・現状では、「助け合い行動」に対する前向きな意識を持っている市民および防災訓練に参加したことがある市民は、全市民の半数程度である。
- ・訓練参加者の方が、不参加者よりも防災対策に積極的に取り組んでいる。
- ・40代以下の若年層の防災訓練参加率が低い。

災害時の「助け合い行動」について、約半数（50.3%）の市民が「助け合い行動がとれると思う」と回答しており【問6】、各区が実施する防災訓練に、少なくとも一度は参加したことがある市民も半数程度である（55.4%）【問7】。

図5: 【問6】 災害時「住民同士の助け合い行動」がとれるか？

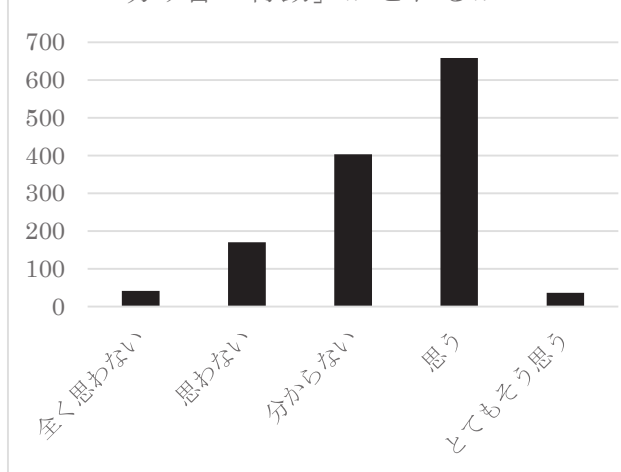
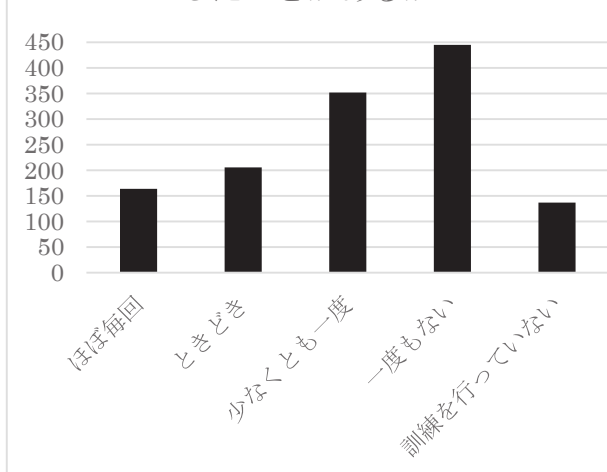


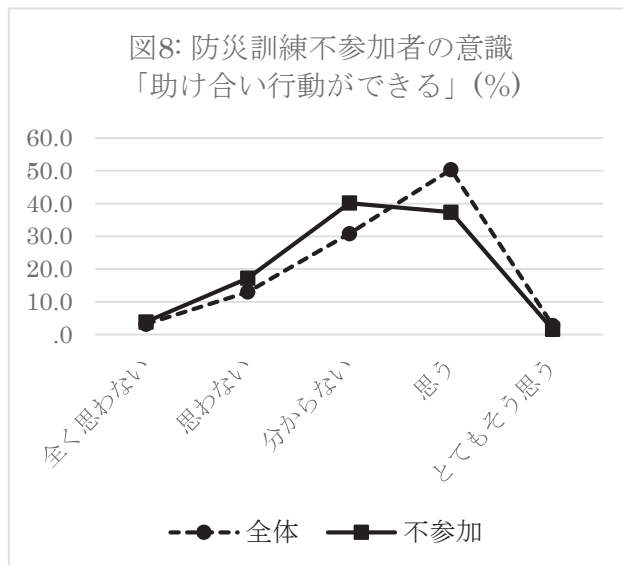
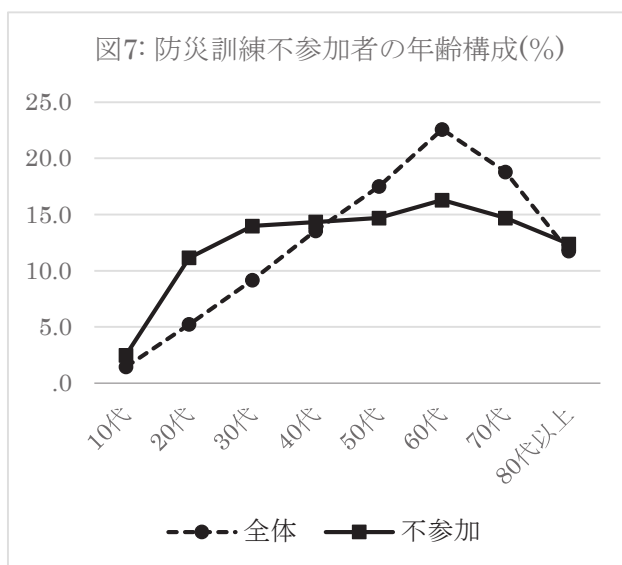
図6: 【問7】 区の防災訓練に参加したことがあるか？



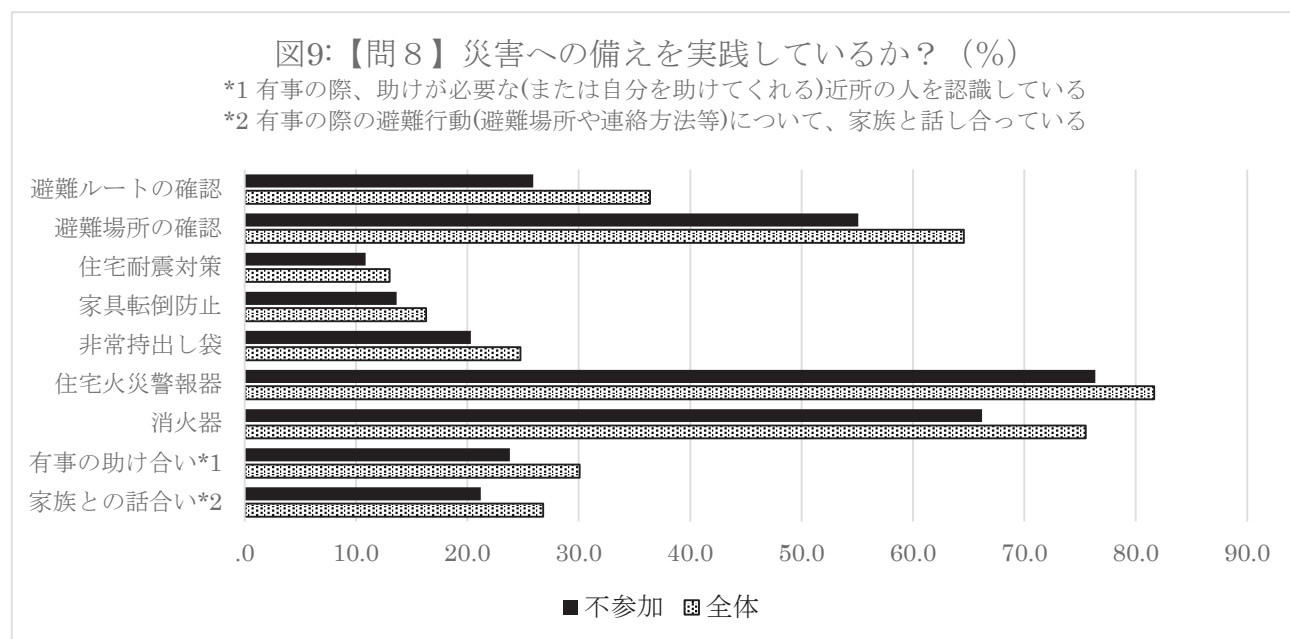
また、「助け合い行動がとれると思う」という意識と、防災訓練への参加経験の間には、統計的に有意な相関関係がみられた ($r=0.28$, $p<0.01$)。すなわち、「助け合い行動」への意識の高さと、訓練への参加頻度の高さには相互に関係があり、一方が高いと他方も高まる傾向がある。

しかしながら、「一度も防災訓練に参加したことがない」あるいは「区で訓練を行っていない」と回答した市民が半数弱（44.6%）存在することも明らかになった。これらの「防災訓練不参加者」の年齢構成を、回答者全体の年齢構成を比較してみると、下図左のようなグラフになる。即ち、2本の折れ線の交点である40代を境に、若年層で「不参加」の割合が高く、高齢者層で「参加」の割合が高くなっている。訓練活動に若年層を取り込むことが今後の課題となろう。

また、「防災訓練不参加者」の「助け合い行動」に対する意識を、全体の傾向と比べてみると、下図右のとおり、「不参加者」の方が「（助け合い行動は）できない・分からない」と消極的に考える傾向があることが分かる。

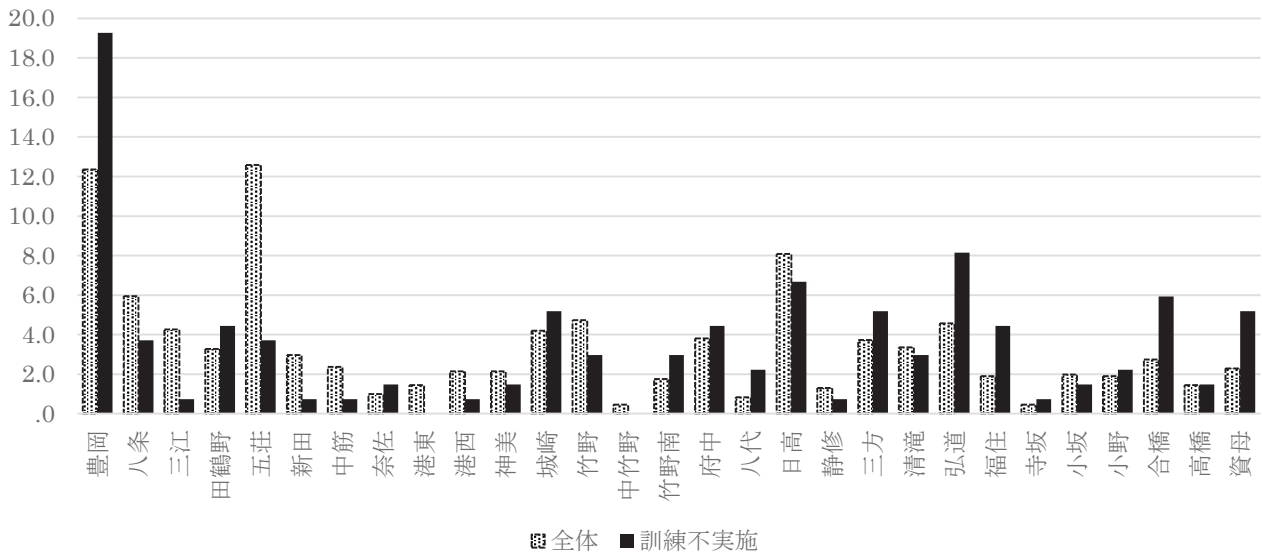


さらに、「災害への備え」に関する回答を比較しても、A～Iのすべての選択肢（消火器の設置や家具の転倒防止対策などの防災行動）において、「防災訓練不参加者」の「備えを実施している割合」は、全体の割合を下回っていることが分かった【問8】。



「区で訓練を行っていない」と回答した市民の所属小学校区を分析すると、下図のようになった。「区で訓練を行っていない」と回答した市民が居住する区のトップ3は「豊岡、弘道、日高」となっている。下の図中で、「不実施」の黒いバーが「全体（全回答者の居住小学校区の割合）」のグレーのバーを上回っている区では、区が実際に訓練を行っているか否かに関わらず、「行っていない」と認識している市民の割合が高い区であり、訓練の実施・普及・広報などの取組みが必要であることが示唆されている。

図10:「区で防災訓練を行っていない」と回答した市民の割合 (%)



以上の分析より、来年度以降、変化を期待するポイントとして、以下の項目が考えられる。

【プロセス評価に向けての指針(案)】

- ・「助け合い行動がとれる」と感じている市民は、現在 50%程度だが、今後、この割合が向上する。
- ・防災訓練に少なくとも一度は参加したことがある市民は、現在 55%程度だが、今後、この割合が向上する。
- ・防災訓練参加者の年齢構成をみると、若年層の不参加傾向がみられるが、今後、この傾向が改善する。
- ・「区で防災訓練を行っていない」と回答した市民の割合が高かった区の状況が、今後、改善される。

【プロセス評価 協働ワークショップのテーマ(案)】

- ・防災訓練活動に若年層を取り込むにはどのような活動・広報が有効か。
- ・【問8】災害への備えの中で、実践している市民が少なかった取組について、どうすれば実践を促せるか。
- ・「区で防災訓練を行っていない」と回答した市民が多かった区では、本当に訓練を行っていないのか、あるいは、「実際には実施しているのに広報・周知が不十分」なのか。どうすればこれらの区の状況が改善できるか。

2. 3「健康長寿のまち」

【要点】

- ・60%以上の市民が「自分は健康だと思う」と感じており、市民の約40%が週2日以上運動している。一旦運動を始めると、長続きする傾向がある。
- ・「健康意識」「運動習慣」「運動習慣の継続」「健康づくりの仲間の存在」には統計的に有意な関係がみられ、いずれかの要素が向上すると、残りの他の要素にもよい影響を与えることが期待できる。
- ・「身近な健康づくりのための環境」と「健康づくりの仲間の存在」にも統計的に有意な関係がみられ、健康づくりの「場」の提供が、市民の「健康仲間づくり」や「運動習慣」を促進する可能性がある。

現在の自分の健康状態について、約63%の市民が「健康だと思う・とても思う」と回答しており【問9】、「健康だと思う・とてもそう思う」と回答した市民は、回答者全体と比べて、9項目の「健康のための心がけ」のすべてにおいて、高い割合で何らかの「心がけ」を実践していることが分かった【問10】。

図11: 【問9】あなたは自分が健康だと思うか？

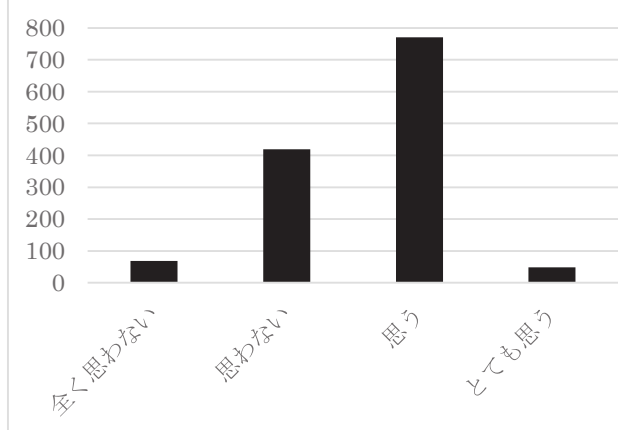
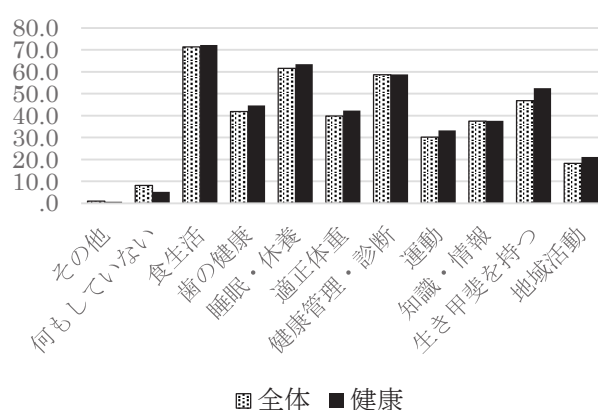


図12: 【問10】健康づくりのために心がけていることは？ (%)



また、健康維持のための運動習慣については、「1日30分以上の運動を週2日以上」行っていると回答した市民が約43%、さらにその運動を過去1年以上継続している市民は75%近く存在することが分かった【問11・12】。一旦運動を始めると、長続きする傾向が読み取れる。

図13: 【問11】健康のために運動をしているか？

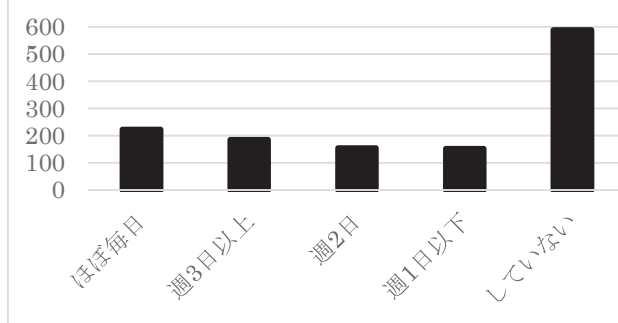
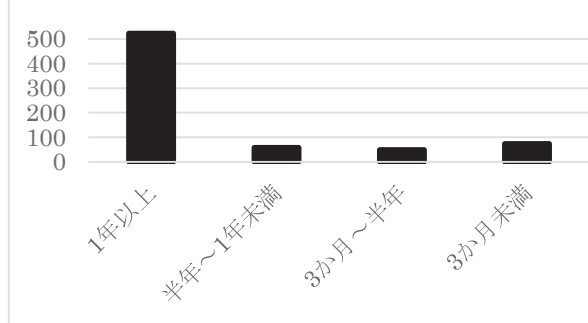
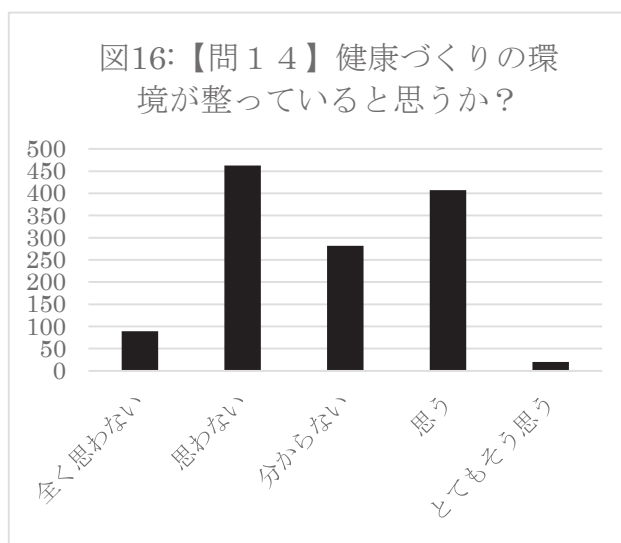
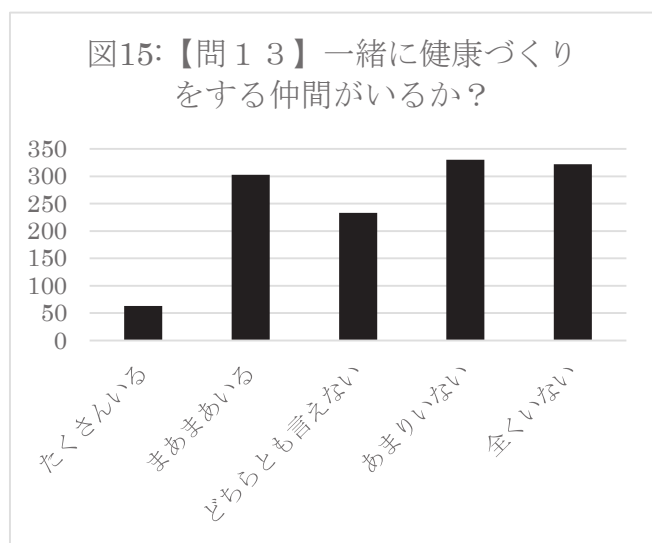


図14: 【問12】その運動はどれくらい継続しているか？



「健康づくりをする仲間がいる」と回答した市民は30%弱で、「あまりいない・全くいない」という回答が半数を超えた【問13】。また、身近に健康づくりのできる環境があると

感じている市民は約 34%であるのに対し、そう感じない市民は約 44%であった【問 1 4】。



健康意識【問9】、運動習慣【問11】、運動の継続【問12】、健康づくりの仲間【問13】、健康づくりの場【問14】について相関分析を行ったところ、下表のような結果が得られた。この結果から、以下の2点が読み取れる。

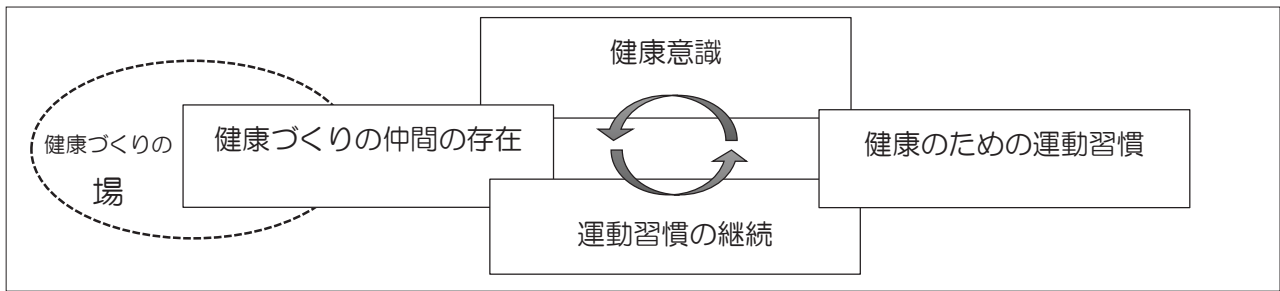
- ① 「健康意識」、「運動習慣」、「運動の継続」、「仲間」の間には、互いに正に有意な相関があり（下表①）、いずれかの項目が向上すれば、残りの他の項目にもよい影響を与える傾向がある。
- ② 「健康づくりの場」は、市民の健康意識や運動習慣には直接関連していないが、「健康づくりの仲間」には正に有意な相関があり（ $r=0.14$, $p<0.01$ ）、一方が改善すればもう一方も改善する傾向がある。したがって、「健康づくりの場」を提供することで、仲間づくりも促進され、引いては市民の健康意識や運動習慣に好影響を与える可能性がある。

表 1: 相関関係(健康)

		問 9	問 1 1	問 1 2	問 1 3	問 1 4
問 9	相関係数 r	1				
健康だと思う[意識]	有意確率 p					
	回答数 N	1306				
問 1 1	相関係数 r	.56*	1			
運動している[運動習慣]	有意確率 p	① .047				
	回答数 N	1282	1304			
問 1 2	相関係数 r	① .118**	① .219**	1		
継続している[運動の継続]	有意確率 p	① .002	① .000			
	回答数 N	690	700	703		
問 1 3	相関係数 r	① .164**	① .337	① .160**	1	
仲間がいる[仲間]	有意確率 p	① .000	① .000	① .000		
	回答数 N	1203	1208	648	1251	
問 1 4	相関係数 r	.033	.045	.013	② .139	1
環境が整っている[場]	有意確率 p	.249	.120	.736	.000	
	回答数 N	1212	1214	650	1240	1261

注) **.1% 水準で有意(両側) * .5% 水準で有意(両側)

図 17: 健康づくりの要因



以上の分析より、来年度以降、変化を期待するポイントとして、以下の項目が考えられる。

【プロセス評価に向けての指針(案)】

- ・「自分は健康だ」と感じている市民は、現在約 63%だが、今後、この割合が向上する。
- ・「1 日 30 分以上、週 2 日以上」の運動習慣を身につけている市民は、現在約 43%だが、今後、この割合が向上する。
- ・「健康づくりの仲間がいる」と回答した市民は現在 30%弱だが、今後、この割合が向上する。
- ・「健康づくりの場」が「仲間づくり」と関連していることから、「身近で健康づくりのできる環境」が整う。

【プロセス評価 協働ワークショップのテーマ(案)】

- ・「【問10】健康づくりの心がけ」の中で、実践している市民が少なかった取組について、どうすれば実践を促せるか。
- ・「健康意識」「運動習慣」「運動習慣の継続」「健康づくりの仲間の存在」の間には相関関係があり、相互に相乗効果が期待できるが、どのようなサービス・イベントを提供すれば相乗効果を引き出せるか。
- ・「健康づくりの場」を整備・提供するにあたって、どのような「場」が市民のニーズに合致するか。

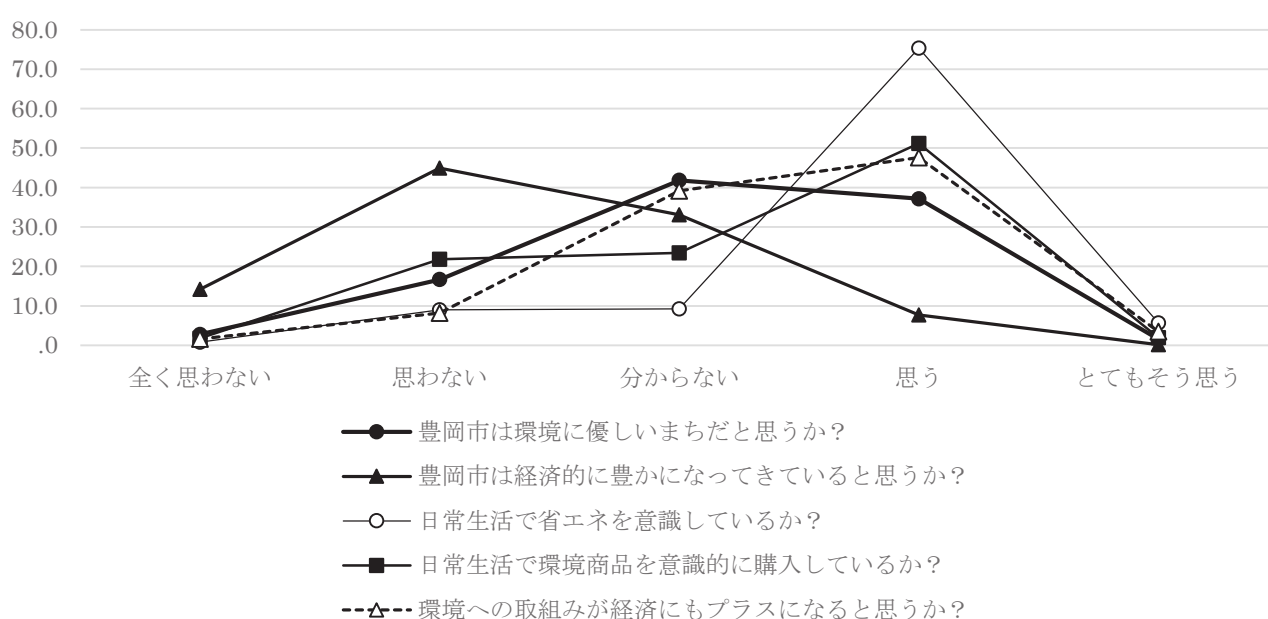
2. 4 「環境に優しいまち」

【要点】

- ・「環境行動(省エネや環境商品の購入)」に前向きに取り組んでいる市民は多い。
- ・「環境意識(豊岡市は環境に優しいまちだ、環境への取組が経済にもプラスになる)」の高い市民も多い。
- ・「経済感覚(豊岡市は近年経済的に豊かになってきている)」については否定的に感じている市民が多い。
- ・全体としては「環境と経済は両立する」という考え方を支持する傾向が読み取れるが、一方で、「経済的豊かさ」を感じている市民が、必ずしも環境行動を積極的に行っているわけではない。

「環境に配慮した経済行動と、市の経済発展が矛盾なく共存できるまち」を目指すうえで、現在の市民の意識・意見を調査した結果、以下のような声が聞かれた。

図18: 【問15～19】「環境に優しいまち豊岡」についての意見(%)



グラフ上、「思う」という肯定的な意見が目立つのが、「省エネ」や「環境商品の購入」などの「日常生活における環境行動」である。続いて、「環境への取組みが経済にもプラスになる」という考え方や「豊岡市は環境に優しいまちだ」という「環境意識」についても肯定的な意見が多い。一方、「経済的に豊かになってきている」という「経済感覚」については「思わない・全く思わない」という否定的な意見が目立っている。

これら 5 つの質問項目の相関関係を分析すると、下表のような結果が得られた。この結果から、以下の3点が読み取れる。

- ① 「豊岡市は環境に優しいまちだ」という意識と、「経済的に豊かになってきている」という意識、および「環境への取組みが経済にもプラスになる」という考え方は、互いに正に有意な相関を示しており ($r=0.33, p<0.01$; $r=0.29, p<0.01$; $r=0.24, p<0.01$)、「環境と経済は両立する」と考える傾向が示されている。
- ② 一方で、「経済的に豊かになってきている」という意識と、「省エネ」や「環境商品の購

入」などの環境行動との間には、有意な相関関係が見られない。今後、「経済的豊かさ」を感じる市民が、積極的に環境行動をとるようになることが期待される。

- ③ 「省エネ」や「環境商品の購入」などの環境行動と、「環境への取組みが経済にもプラスになる」という考え方は、互いに関連がある($r=0.43$, $p<0.01$; $r=0.15$, $p<0.01$; $r=0.18$, $p<0.01$)。

表 2: 相関関係(環境)

		問15	問16	問17	問18	問19
問15 環境に優しいまちだ と思う	相関係数 r 有意確率 p 回答数 N	1 1270				
問16 経済的に豊かになって きている	相関係数 r 有意確率 p 回答数 N	① .329** .000 1265	1 1276			
問17 省エネを意識している	相関係数 r 有意確率 p 回答数 N	.053 .060 1266	② -.005 .869 1272	1 1277		
問18 環境商品を 購入してい る	相関係数 r 有意確率 p 回答数 N	① .070* .014 1255	② .009 .762 1260	③ .430** .000 1263	1 1265	
問19 環境への取 組は経済に もプラス	相関係数 r 有意確率 p 回答数 N	.284** .000 1263	① .240** .000 1270	③ .152** .000 1272	③ .182** .000 1261	1 1275

注) **. 1% 水準で有意 (両側) * . 5% 水準で有意 (両側)

以上の分析より、来年度以降、変化を期待するポイントとして、以下の項目が考えられる。

【プロセス評価に向けての指針(案)】

- ・「豊岡市は環境に優しいまちだ」と感じている市民は、現在 40%弱だが、今後、この割合が向上する。
- ・「日常生活で環境商品を意識的に購入している」市民は、現在約 53%だが、今後、この割合が向上する。
- ・「環境への取組が経済にもプラスになる」と考える市民は、現在約半数だが、今後、この割合が向上する。
- ・現時点では、「経済的に豊かになってきている」と感じる市民が、必ずしも「環境行動(省エネや環境商品の購入など)」を取っていないが、今後、これらの項目の間に、有意な相関関係があらわれる。

【プロセス評価 協働ワークショップのテーマ(案)】

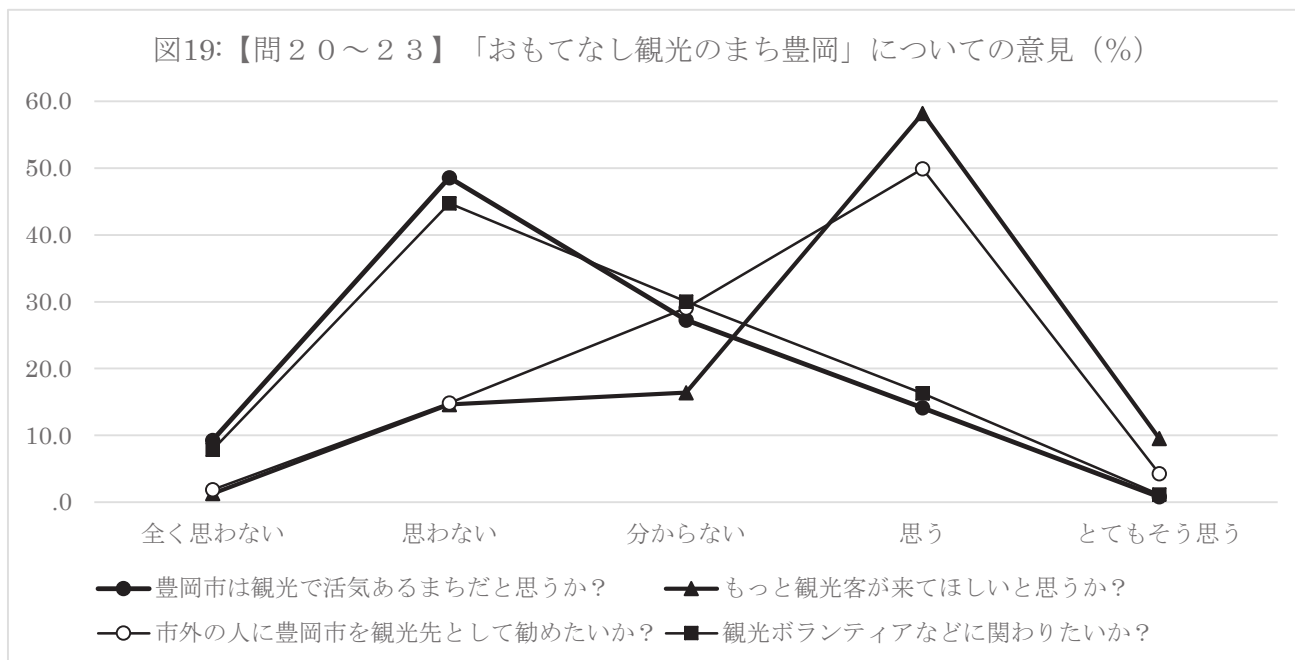
- ・市民の環境意識が向上するためには、どのような取り組みが必要か。
- ・どうすれば環境商品の購入を促進できるか(市はどのようにサポートできるか)。

2. 5「おもてなし観光のまち」

【要点】

- ・豊岡市の観光開発を願う市民は多いが、地域ごとに見ると、観光客の流入を望まない市民が多い地域もある。
- ・豊岡の魅力的な観光資源として、最も多くの市民の支持を集めたのは、城崎温泉・城下町出石・コウノトリであった。
- ・「観光ボランティアに関わりたい」と考えている市民は全体的に少なかったが、「分からない」という回答が多く、「市外の人に豊岡を観光先として勧めたい」という市民は半数近くいることから、具体的なきっかけや情報があれば、参加してみようと思う市民が増える可能性がある。

「観光地としての豊岡市」についての、現在の市民の意識・意見を調査した結果、以下のような傾向が見られた。

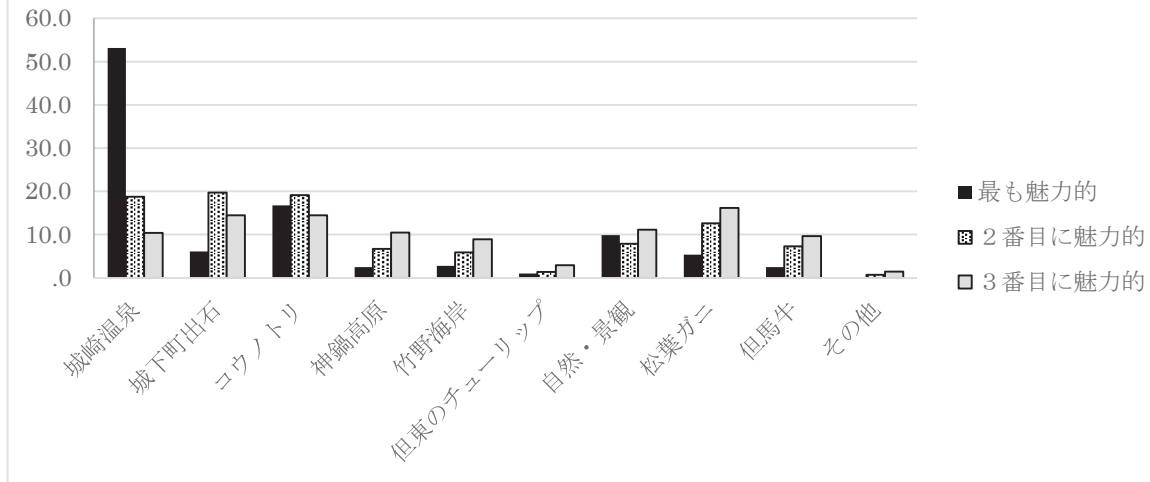


上記のグラフを見ると、「思う」という肯定的な意見が目立つのが、「もっと観光客が来てほしい」という意見と「市外の人に豊岡市を観光先として勧めたい」という意見である。約62%の市民が、「もっと観光客が来てほしい」と考えていることから、市民の過半数以上が、観光地としての豊岡の発展を願っていることが分かる。反対に、「思わない」という否定的な意見が目立つのが、「豊岡市は観光客の集まる活気あふれたまちだと思う」という意見と「機会があれば観光ボランティアなどに関わりたい」という意見である。

現在、仕事やボランティアで観光客への「おもてなし」活動に従事していると回答した市民は6%弱であった。現在そのような活動に従事していない市民の中で、観光ボランティア活動について、「機会があればやってみたい」と考えている市民は20%に満たなかったが、一方で「分からない」という回答が30%あったこと、そして、「市外の人に豊岡を観光先として勧めたい」という市民は半数近くいることから、具体的なボランティアのきっかけが身近に紹介されれば、参加してみようと思う市民が増える可能性がある。

また、豊岡の魅力的な観光資源として、最も多くの市民の支持を集めたのは「城崎温泉」「城下町出石」「コウノトリ」であった【問24】。

図20: 【問 2 4】豊岡市の魅力的な観光資源は？ (%)



しかしながら、観光地としての発展の是非については、地域差が大きいと考えられる。学区別に回答割合を見てみると、それぞれの質問について、地域によって「肯定派」と「否定派」の現れ方が様々であることが分かる。

まず、「豊岡市は観光客で賑わう活気あるまちだ」と「思う、とてもそう思う」割合が最も高いのは城崎である（58%）。逆に、「思わない、全く思わない」割合が高いのは中竹野（100%）・奈佐（85%）・三江（77%）の3学区である。「もっと観光客が来てほしい」「市外の人に豊岡市を観光先として勧めたい」と考える市民の割合は全体として高かったが、学区ごとに見てみると、八代では36%、寺坂では33%、合橋では31%の市民が「観光客に来てほしいとは思わない」と回答しており、寺坂では半数、田鶴野では37%、中竹野と竹野南では3割以上の市民が、「市外の人に豊岡観光を勧めたいとは思わない」と回答している。観光開発に際しては、これらの意見にも留意する必要があるだろう。

「観光ボランティアに関わりたい」と考えている市民は全体的に少なかったが、「分からない」という回答に注目すると、城崎（52%）・中竹野（50%）・新田（44%）・静修（44%）・八代（40%）の他、豊岡・八条・三江・竹野南・日高・三方・清滝・弘道・福住・寺坂・合橋など多くの学区で3割以上の市民が「分からない」と回答している。これらの市民は、具体的な活動内容が分かれば関心を示してくれる可能性があり、その可能性はひろく多くの学区に見られることが分かった。

以上の分析より、来年度以降、変化を期待するポイントとして、以下の項目が考えられる。

【プロセス評価に向けての指針(案)】

- ・「豊岡市は観光で活気あるまちだ」と感じている市民は、現在 15%弱だが、今後、この割合が向上する。ただし、居住地域の「観光地化」を望まない市民への配慮も十分に行う必要がある。
- ・「市外の人に豊岡市を観光先として勧めたい」と思う市民は、現在約 54%だが、今後、この割合が向上する。ただし、居住地域の「観光地化」を望まない市民への配慮も十分に行う必要がある。
- ・観光ボランティアの活動プログラムを策定・広報・実施する。

【プロセス評価 協働ワークショップのテーマ(案)】

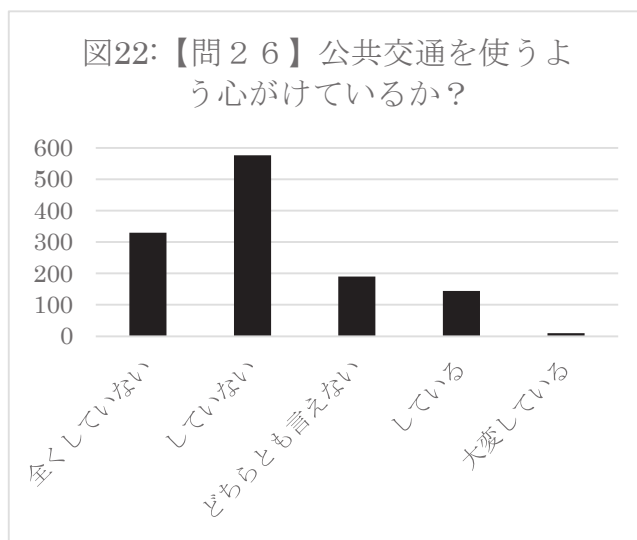
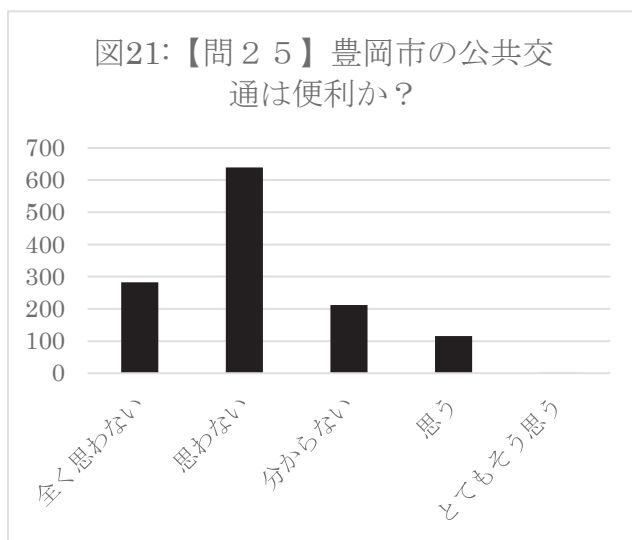
- ・「観光で活気あるまち」を目指す地区はどこか、住民の生活を優先させるべき地区はどこか。またそれぞれの地区の活性化に向けて、それぞれどのような戦略をとっていくのか。
- ・市民が参加しやすく、利用者側にとっても魅力的な「観光ボランティア活動」とは、どのような活動があるか。

2. 6「交通の便利なまち」

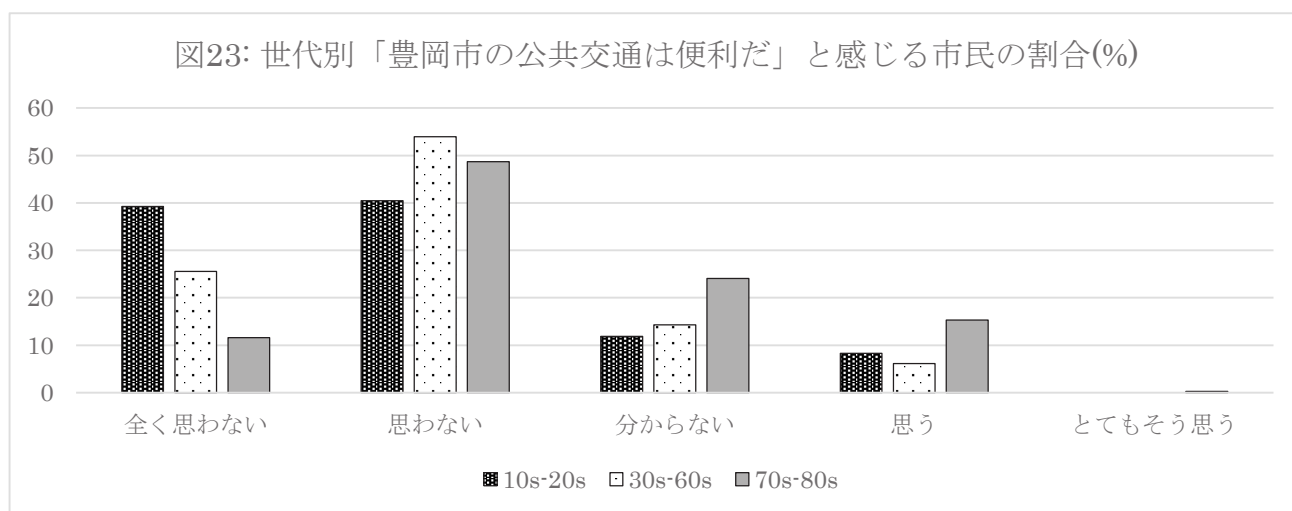
【要点】

- ・豊岡市の公共交通が便利だと感じ、公共交通を使うよう心がけている市民は 10%前後と少数である。
- ・壮年層(30～60 代)よりも学生や高齢者の方が公共交通の利便性を感じ、利用を心がけている。
- ・市民にとって最も必要性が高い公共交通はバスと鉄道であり、特に高齢者にとってバスは必要な交通手段である。
- ・地域によって、公共交通の利便性に対する感覚やニーズに違いがある。

豊岡市の公共交通が便利だ(そう思う・とてもそう思う)と感じている市民は 10%弱にとどまった【問25】。また、公共交通を使うよう心がけている市民も 10%強と少数である【問26】。

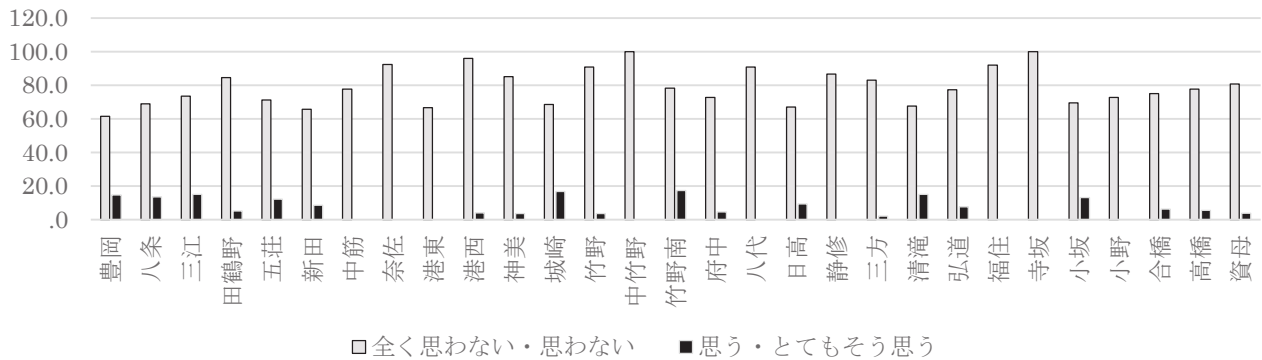


しかしながら、「学生あるいは高齢者(10代・20代・70代・80代)」と「その他の世代(30代～60代)」の間には、統計的に有意な「感覚の違い」が存在することが分かった。「学生・高齢者」の方が、「その他世代」よりも、公共交通をより便利だと感じており(t検定: $t=6.14$, $df=801$, $p<0.01$)、公共交通をより積極的に使うよう心がけている(t検定: $t=7.24$, $df=787$, $p<0.01$)。



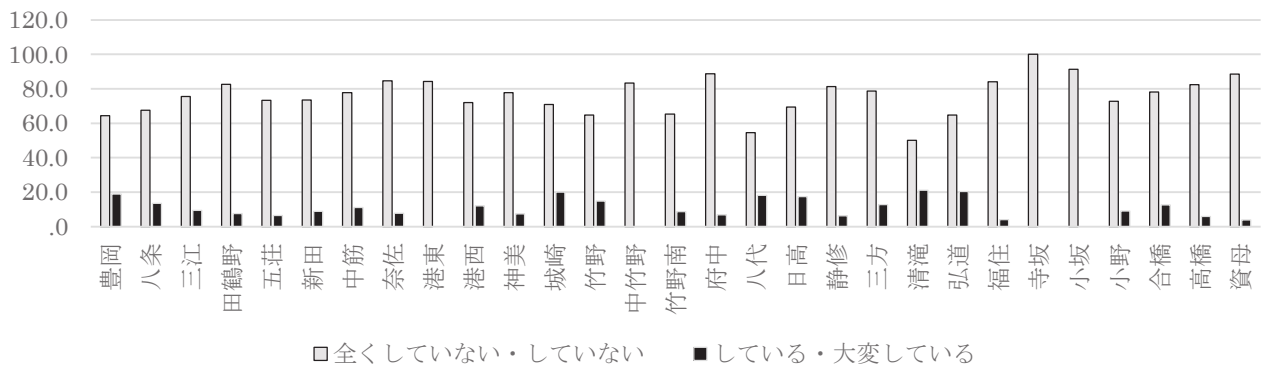
さらに、居住学区別に分析すると、地域によって利便性の感覚が異なることも明らかになった。下図のとおり、学区によっては「思う・とてもそう思う」という回答がゼロになっているところもある。これらの地域に対する配慮が求められよう。

図24: 地域別「豊岡市の公共交通は便利だ」と感じる市民の割合 (%)
(注: 「分からない」をのぞく)



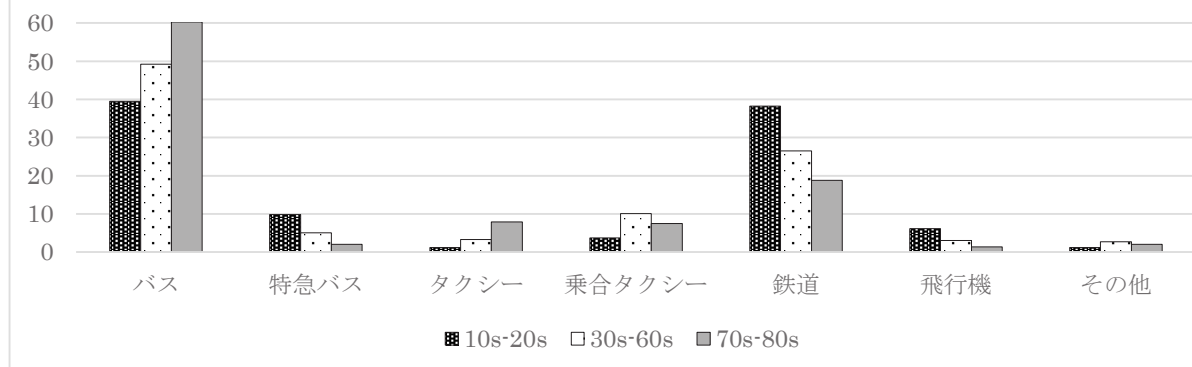
また、公共交通を使うよう心がけている市民の割合にも地域差が見られた。下図のとおり、学区によっては「心がけている」という回答がゼロになっているところもある。港東・中竹野・寺坂などの学区では、利便性を感じる市民の割合・心がけている市民の割合ともにゼロとなっており、何らかの対応が必要な地域であると考えられる。

図25: 地域別「公共交通を使うよう心がけている」市民の割合 (%)
(注: 「どちらとも言えない」をのぞく)

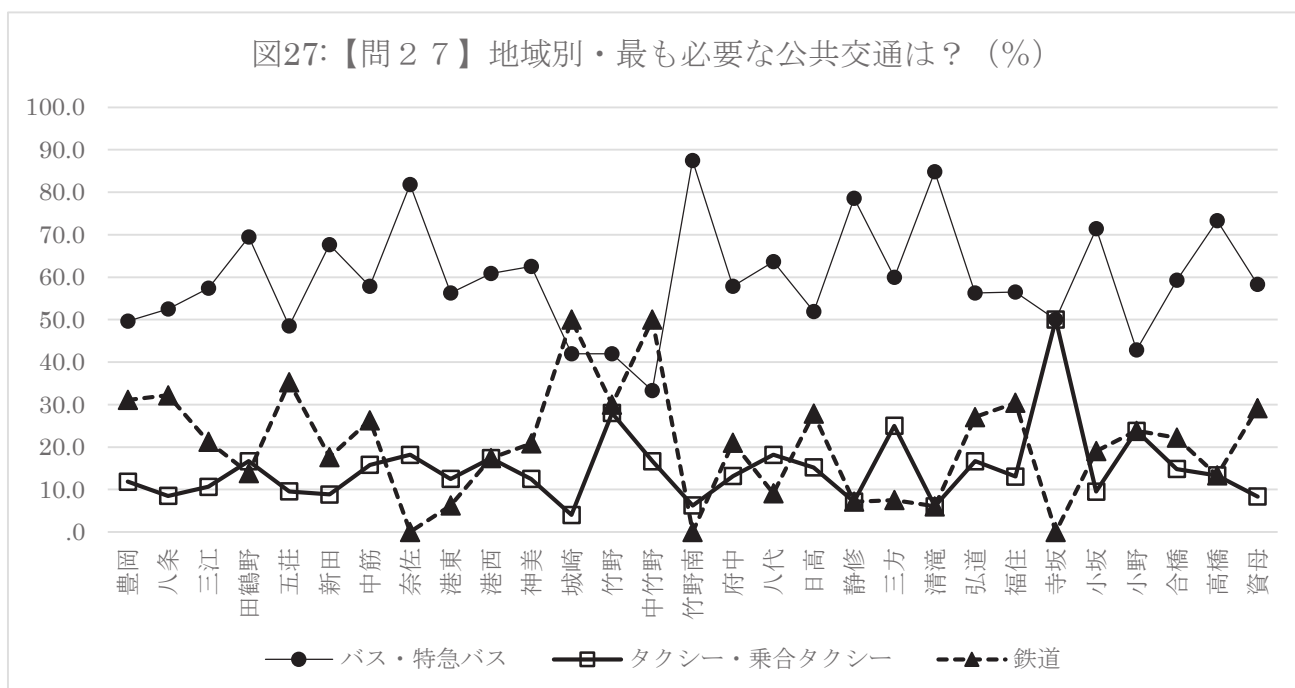


「最も必要だと感じる公共交通」については、どの世代も「バス」と「鉄道」を上位に挙げたが、若年層（10～20代）はバスと鉄道の必要性がほぼ同格であるのに対し、高齢者層（70～80代）はバスへの必要性を明確に示している【問27】。

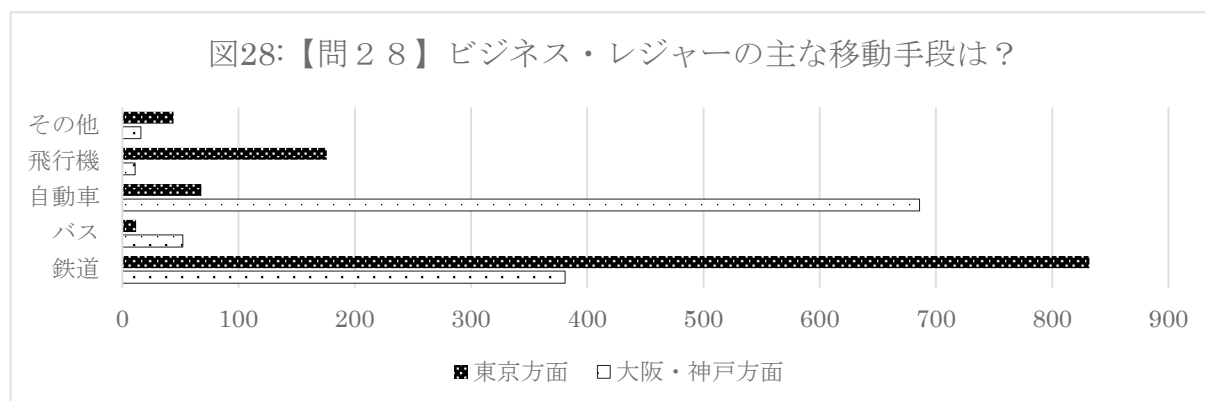
図26: 【問27】世代別・最も必要な公共交通は？ (%)



「最も必要だと感じる公共交通」についても、地域による違いが見られた。全体にバスへのニーズが高いが、城崎や中竹野では鉄道が上回っており、寺坂ではバスに対するニーズとタクシーに対するニーズがほぼ同列になっている。



また、大阪・神戸・東京への移動に際しての主要交通手段については、「関西方面へは自動車か鉄道で」、「関東方面へは鉄道か飛行機で（主に鉄道）」という使い分けが見られた。



以上の分析より、来年度以降、変化を期待するポイントとして、以下の項目が考えられる。

【プロセス評価に向けての指針(案)】

- ・「豊岡市の公共交通は便利だ」と感じている市民は、現在 10%弱だが、今後、この割合が向上する。
- ・公共交通を使うよう心がけている市民も、現在 10%程度だが、今後、この割合が向上する。
- ・公共交通サービスが十分に行き届いていないと思われる地域(利便性や心がけについての回答が否定的な地域)の状況が改善する(脾摘的な回答が減少する)。

【プロセス評価 協働ワークショップのテーマ(案)】

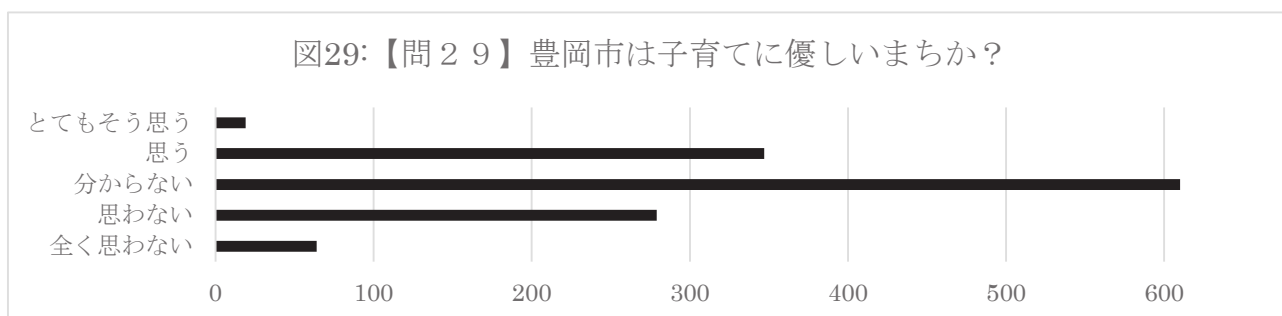
- ・公共交通に対する世代ごと・地域ごとのニーズをくみ上げるにはどうすればよいか。
- ・「みんなにとって便利な公共交通」とはどのような交通サービスか。

2. 7「子育てに優しいまち」

【要点】

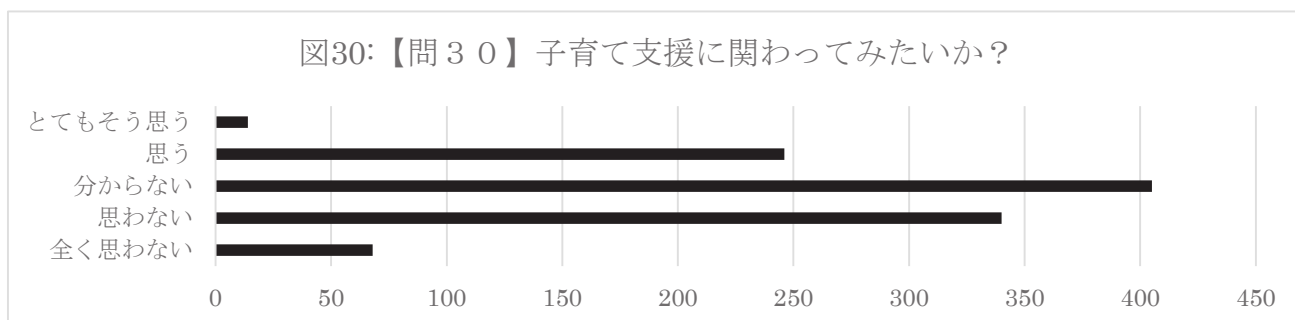
- ・豊岡市は子育てに優しいまちだと感じている市民は3割弱であり、豊岡市の育児事情に満足している市民とそうでない市民はほぼ半々である。
- ・「子育てボランティアに関わりたい」と考えている市民は、全体で24%程度（「分からない」38%）、子育て世帯では40%近くにのぼることから、具体的なきっかけや情報があれば、ボランティア活動に参加する市民は増えると考えられる。
- ・「市の子育てサービスの活用状況」と「育児の充実感」の間には、統計的に有意な正の相関関係があり、支援サービスの充実が、市民の育児に対する充実感により影響を与える可能性がある。

豊岡市は子育てに優しいまちだ（そう思う・とてもそう思う）と感じている市民は約28%であった【問29】。



「思わない・全くそう思わない」という回答が26%であったことを勘案すると、現在の豊岡市の育児事情に満足している市民と満足していない市民はほぼ半々であるといえよう。特に、小学生以下の子どもをもつ「子育て世帯」の意見を見てみると、下図のように、「思わない・全くそう思わない」という不満の声が、全体の意見に比して、高くなっている。子育て世帯のニーズを再確認する必要があるかも知れない。

また、現在、仕事やボランティアで子育て支援に関わっていると回答した市民は17%であり、関わりを持っていない市民のうち、「機会があれば関わってみたい」と考えている市民は約24%であった【問30】。



しかしながら、38%の市民が「分からない」と回答していることから、具体的なきっかけや十分な情報があれば、参加を検討する市民も現れる可能性がある。一方、「子育て世帯」のうちで、仕事やボランティアで子育て支援に関わっていると回答した市民は30%にのぼる。現在は関わっていない市民でも、約39%が「機会があれば関わってみたい」と考えている。

図31: 世帯別「豊岡市は子育てに優しいまちか？」 (%)

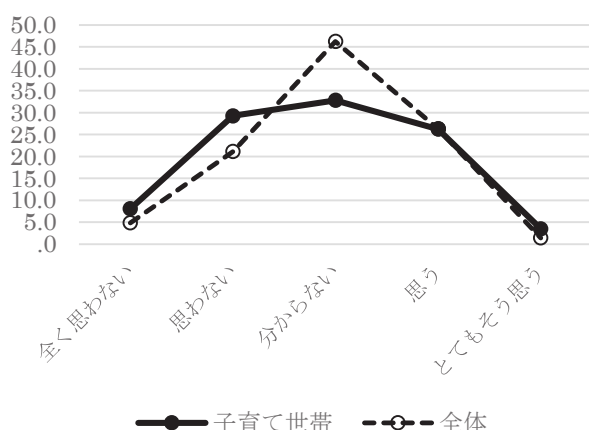
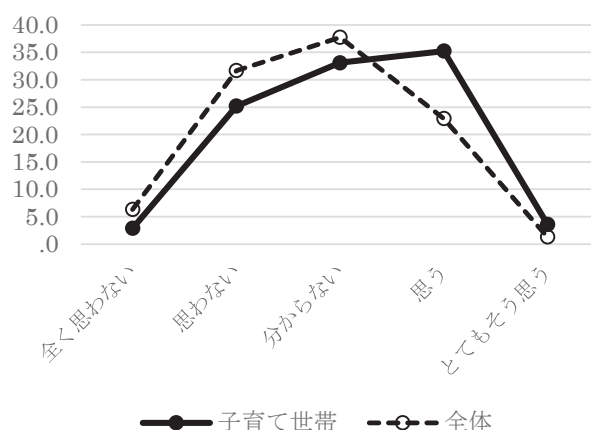


図32: 世帯別「子育て支援に関わってみたいか？」 (%)



子育て支援サービスの活用状況【問 31】および子育ての充実感【問 32】をみると、いずれにおいても、市民一般の認識よりも、子育て世帯の回答の方が肯定的である。

図33: 【問 3 1】子育て支援サービスを活用しているか？

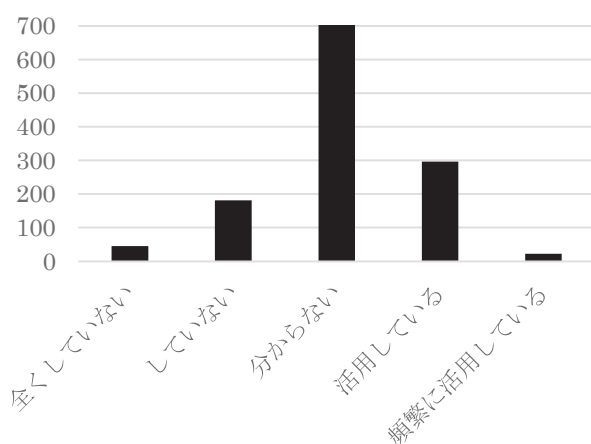
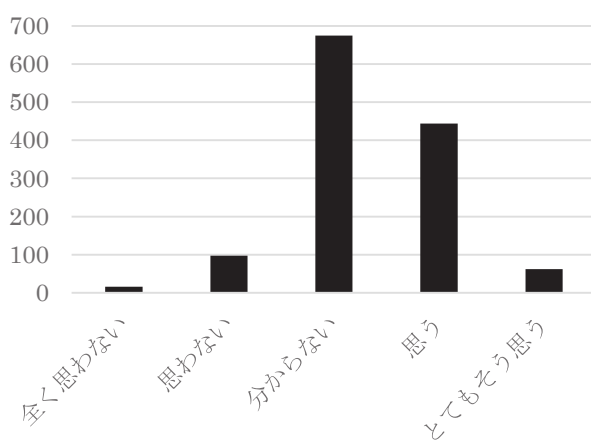


図34: 【問 3 2】子育てを楽しんでいるか？



また、「子育て支援サービスの活用状況」と「子育ての充実感」の間には、統計的に有意な正の相関が認められることから ($r=0.29, p<0.01$)、即ち、サービス利用頻度の高さと子育て充実感の高さには関連性があり、一方が高まるともう一方も高まる傾向が見られることから、さらなる支援サービスの向上が期待される。

図35: 世帯別「子育て支援サービスを活用しているか？」 (%)

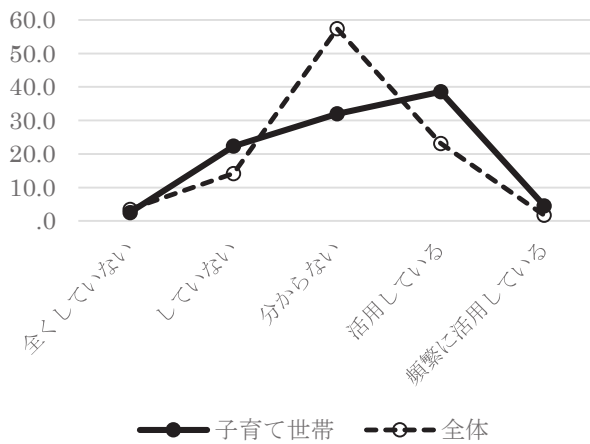
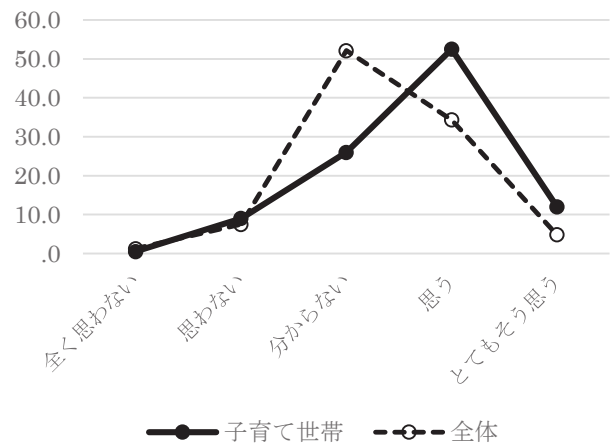


図36: 世帯別「子育てを楽しんでいるか？」 (%)



以上の分析より、来年度以降、変化を期待するポイントとして、以下の項目が考えられる。

【プロセス評価に向けての指針(案)】

- ・「豊岡市は子育てに優しいまちだ」と感じている市民は、現在約 28%だが、今後、この割合が向上する。
- ・「豊岡市は子育てに優しいまちだ」と感じない市民は、現在約 26%だが、今後、この割合が減少する。
- ・子育て支援サービスを活用している市民は、現在約 25%だが、今後、この割合が向上する。
- ・子育てを楽しんでいる市民は、現在 40%弱だが、今後、この割合が向上する。

【プロセス評価 協働ワークショップのテーマ(案)】

- ・どのような子育て支援サービスが求められているか。現行のサービスのどのような点に不満があるのか。
- ・子育て世帯もそれ以外の世帯も参加しやすい「子育て支援ボランティア」には、どのような活動が考えられるか。

3. 参考データ

【問１】あなたの性別は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	男性	565	41.5	43.0	43.0
	女性	749	55.0	57.0	100.0
	合計	1314	96.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	48	3.5		
合計		1362	100.0		

【問２】あなたの年齢は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	10代	19	1.4	1.4	1.4
	20代	69	5.1	5.2	6.7
	30代	121	8.9	9.2	15.8
	40代	179	13.1	13.6	29.4
	50代	231	17.0	17.5	46.9
	60代	298	21.9	22.6	69.5
	70代	248	18.2	18.8	88.3
	80代以上	155	11.4	11.7	100.0
	合計	1320	96.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	42	3.1		
合計		1362	100.0		

【問３】あなたの職業は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	会社員	274	20.1	21.3	21.3
	自営業	181	13.3	14.0	35.3
	公務員	89	6.5	6.9	42.2
	パート・アルバイト	149	10.9	11.6	53.8
	主婦	324	23.8	25.1	78.9
	学生	27	2.0	2.1	81.0
	NGO・NPO	4	.3	.3	81.3
	その他	241	17.7	18.7	100.0
	合計	1289	94.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	73	5.4		
合計		1362	100.0		

【問４】あなたがお住いの小学校区は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	豊岡	162	11.9	12.3	12.3
	八条	78	5.7	5.9	18.3
	三江	56	4.1	4.3	22.6
	田鶴野	43	3.2	3.3	25.8
	五荘	165	12.1	12.6	38.4
	新田	39	2.9	3.0	41.4
	中筋	31	2.3	2.4	43.8
	奈佐	13	1.0	1.0	44.7
	港東	19	1.4	1.4	46.2
	港西	28	2.1	2.1	48.3
	神美	28	2.1	2.1	50.5
	城崎	55	4.0	4.2	54.6
	竹野	62	4.6	4.7	59.4
	中竹野	6	.4	.5	59.8
	竹野南	23	1.7	1.8	61.6
	府中	50	3.7	3.8	65.4
	八代	11	.8	.8	66.2
	日高	106	7.8	8.1	74.3
	静修	17	1.2	1.3	75.6
	三方	49	3.6	3.7	79.3
	清滝	44	3.2	3.4	82.7
	弘道	60	4.4	4.6	87.3
	福住	25	1.8	1.9	89.2
	寺坂	6	.4	.5	89.6
	小坂	26	1.9	2.0	91.6
	小野	25	1.8	1.9	93.5
	合橋	36	2.6	2.7	96.3
	高橋	19	1.4	1.4	97.7
	資母	30	2.2	2.3	100.0
	合計	1312	96.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	50	3.7		
合計		1362	100.0		

【問5】あなたの同居家族の構成は？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ひとり暮らし	133	9.8	10.3	10.3
	夫婦のみ	315	23.1	24.3	34.5
	夫婦と子ども	285	20.9	22.0	56.5
	父または母親と子ども	64	4.7	4.9	61.4
	二世世代家族	189	13.9	14.6	76.0
	三世世代家族	179	13.1	13.8	89.8
	その他	132	9.7	10.2	100.0
	合計	1297	95.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	65	4.8		
合計		1362	100.0		

【問5】小学生以下の子どもの数は？（人）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	1	87	6.4	26.8	63.7
	2	75	5.5	23.1	86.8
	3	28	2.1	8.6	95.4
	4	11	.8	3.4	98.8
	5	2	.1	.6	99.4
	6	1	.1	.3	99.7
	8	1	.1	.3	100.0
	合計	325	23.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	1037	76.1		
合計		1362	100.0		

【問6】あなたの区では、災害時に、被害を軽減するために

「住民同士の助け合い行動ができる」と思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	41	3.0	3.1	3.1
	思わない	170	12.5	13.0	16.1
	分からない	403	29.6	30.8	46.9
	思う	659	48.4	50.3	97.2
	とてもそう思う	36	2.6	2.8	100.0
	合計	1309	96.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	53	3.9		
合計		1362	100.0		

【問7】あなたは区で開催される防災訓練

(消火器取扱い訓練、避難訓練、救命講習など)に参加したことがありますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
	ほぼ毎回	164	12.0	12.6	12.6
	ときどき	206	15.1	15.8	28.4
	少なくとも一度	352	25.8	27.0	55.4
	一度もない	445	32.7	34.1	89.5
	訓練を行っていない	137	10.1	10.5	100.0
	合計	1304	95.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	58	4.3		
合計		1362	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

A 消火器を設置している(最寄りの設置場所を知っている)

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	322	23.6	24.5	24.5
	はい	992	72.8	75.5	100.0
	合計	1314	96.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	48	3.5		
合計		1362	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

B 住宅火災警報器を設置している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	241	17.7	18.4	18.4
	はい	1072	78.7	81.6	100.0
	合計	1313	96.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	49	3.6		
合計		1362	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

C 非常持出し袋を準備している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	988	72.5	75.2	75.2
	はい	325	23.9	24.8	100.0
	合計	1313	96.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	49	3.6		
合計		1362	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

D 家具の転倒防止を施している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1099	80.7	83.7	83.7
	はい	214	15.7	16.3	100.0
	合計	1313	96.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	49	3.6		
合計		1362	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

E 住宅の耐震診断や耐震改修を行っている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1142	83.8	87.0	87.0
	はい	171	12.6	13.0	100.0
	合計	1313	96.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	49	3.6		
合計		1362	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

F 最寄りの避難場所を確認している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	465	34.1	35.4	35.4
	はい	847	62.2	64.6	100.0
	合計	1312	96.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	50	3.7		
合計		1362	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

G 避難ルートを確認している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	835	61.3	63.6	63.6
	はい	478	35.1	36.4	100.0
	合計	1313	96.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	49	3.6		
合計		1362	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

H 有事の際、助けが必要な（または自分を助けてくれる）近所の人の存在を認識している

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	918	67.4	69.9	69.9
	はい	395	29.0	30.1	100.0
	合計	1313	96.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	49	3.6		
合計		1362	100.0		

【問8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

I 有事の際の避難行動について、家族と話し合っている（避難場所や連絡の方法など）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	961	70.6	73.2	73.2
	はい	352	25.8	26.8	100.0
	合計	1313	96.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	49	3.6		
合計		1362	100.0		

【問 8】あなたは災害に備えて次のことを実践していますか？

J その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1296	95.2	98.9	98.9
	はい	15	1.1	1.1	100.0
	合計	1311	96.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	51	3.7		
合計		1362	100.0		

【問 9】あなたは現在、自分が健康だと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	68	5.0	5.2	5.2
	思わない	419	30.8	32.1	37.3
	思う	771	56.6	59.0	96.3
	とても思う	48	3.5	3.7	100.0
	合計	1306	95.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	56	4.1		
合計		1362	100.0		

【問 10】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

A 食生活に気をつける

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	380	27.9	28.7	28.7
	はい	944	69.3	71.3	100.0
	合計	1324	97.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	38	2.8		
合計		1362	100.0		

【問 10】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

B 虫歯や歯周病にならないよう歯の健康に気をつける

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	771	56.6	58.2	58.2
	はい	554	40.7	41.8	100.0
	合計	1325	97.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	37	2.7		
合計		1362	100.0		

【問１０】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

C 睡眠や休養を十分にとる

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	508	37.3	38.4	38.4
	はい	816	59.9	61.6	100.0
	合計	1324	97.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	38	2.8		
合計		1362	100.0		

【問１０】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

D 適正体重を認識し体重をコントロールしている

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	796	58.4	60.1	60.1
	はい	528	38.8	39.9	100.0
	合計	1324	97.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	38	2.8		
合計		1362	100.0		

【問１０】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

E 定期的に健康管理や健康診断を受診する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	547	40.2	41.3	41.3
	はい	778	57.1	58.7	100.0
	合計	1325	97.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	37	2.7		
合計		1362	100.0		

【問１０】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

F 運動やスポーツなど積極的に体を動かす

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	924	67.8	69.9	69.9
	はい	398	29.2	30.1	100.0
	合計	1322	97.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	40	2.9		
合計		1362	100.0		

【問１０】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

G 健康についての知識や情報を得る

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	828	60.8	62.5	62.5
	はい	496	36.4	37.5	100.0
	合計	1324	97.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	38	2.8		
合計		1362	100.0		

【問１０】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

H 趣味や旅行など生きがい（楽しみ）を持つ

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	705	51.8	53.2	53.2
	はい	619	45.4	46.8	100.0
	合計	1324	97.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	38	2.8		
合計		1362	100.0		

【問１０】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

I ボランティア活動や地域の活動に参加する

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1083	79.5	81.9	81.9
	はい	240	17.6	18.1	100.0
	合計	1323	97.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	39	2.9		
合計		1362	100.0		

【問１０】 あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

J 何もしていない

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1217	89.4	91.9	91.9
	はい	107	7.9	8.1	100.0
	合計	1324	97.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	38	2.8		
合計		1362	100.0		

【問１０】あなたはご自身の健康のために現在どのようなことを心がけていますか？

K その他

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	いいえ	1310	96.2	99.0	99.0
	はい	13	1.0	1.0	100.0
	合計	1323	97.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	39	2.9		
合計		1362	100.0		

【問１１】あなたは健康維持・増進のために運動（１日３０分以上）をしていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	ほぼ毎日	223	16.4	17.1	17.1
	週３日以上	185	13.6	14.2	31.3
	週２日	155	11.4	11.9	43.2
	週１日以下	153	11.2	11.7	54.9
	していない	588	43.2	45.1	100.0
	合計	1304	95.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	58	4.3		
合計		1362	100.0		

【問１２】【問１１】の回答で①～④の方にお尋ねします。

その運動はどのくらい継続されていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	１年以上	523	38.4	74.4	74.4
	半年～１年未満	58	4.3	8.3	82.6
	３か月～半年	49	3.6	7.0	89.6
	３か月未満	73	5.4	10.4	100.0
	合計	703	51.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	659	48.4		
合計		1362	100.0		

【問１３】あなたは一緒に健康づくりをする仲間がいますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	たくさんいる	63	4.6	5.0	5.0
	まあまあいる	303	22.2	24.2	29.3
	どちらとも言えない	233	17.1	18.6	47.9
	あまりいない	330	24.2	26.4	74.3
	全くない	322	23.6	25.7	100.0
	合計	1251	91.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	111	8.1		
合計		1362	100.0		

【問１４】 運動ができる公園や健康増進施設など、
身近なところで健康づくりのできる環境が整っていると思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	89	6.5	7.1	7.1
	思わない	463	34.0	36.7	43.8
	分からない	282	20.7	22.4	66.1
	思う	407	29.9	32.3	98.4
	とてもそう思う	20	1.5	1.6	100.0
	合計	1261	92.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	101	7.4		
合計		1362	100.0		

【問１５】豊岡市は、環境に優しいまちだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	35	2.6	2.8	2.8
	思わない	212	15.6	16.7	19.4
	分からない	531	39.0	41.8	61.3
	思う	472	34.7	37.2	98.4
	とてもそう思う	20	1.5	1.6	100.0
	合計	1270	93.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	92	6.8		
合計		1362	100.0		

【問１６】豊岡市は、近年、経済的に豊かになってきていると思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	181	13.3	14.2	14.2
	思わない	573	42.1	44.9	59.1
	分からない	422	31.0	33.1	92.2
	思う	98	7.2	7.7	99.8
	とてもそう思う	2	.1	.2	100.0
	合計	1276	93.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	86	6.3		
合計		1362	100.0		

【問１７】日常生活で省エネを意識していますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	10	.7	.8	.8
	思わない	115	8.4	9.0	9.8
	分からない	118	8.7	9.2	19.0
	思う	962	70.6	75.3	94.4
	とてもそう思う	72	5.3	5.6	100.0
	合計	1277	93.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	85	6.2		
合計		1362	100.0		

【問１８】日常生活で環境に配慮した商品を意識して購入していますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	22	1.6	1.7	1.7
	思わない	276	20.3	21.8	23.6
	分からない	296	21.7	23.4	47.0
	思う	647	47.5	51.1	98.1
	とてもそう思う	24	1.8	1.9	100.0
	合計	1265	92.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	97	7.1		
合計		1362	100.0		

**【問１９】 豊岡市の市民や事業者の皆さまによる環境を良くする取組みが、
豊岡市の経済にもプラスになると感じますか？**

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	21	1.5	1.6	1.6
	思わない	104	7.6	8.2	9.8
	分からない	499	36.6	39.1	48.9
	思う	607	44.6	47.6	96.5
	とてもそう思う	44	3.2	3.5	100.0
	合計	1275	93.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	87	6.4		
合計		1362	100.0		

【問２０】 豊岡市は、国内外から人が集まる、賑わい活気にあふれたまちだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	116	8.5	9.3	9.3
	思わない	609	44.7	48.6	57.8
	分からない	342	25.1	27.3	85.1
	思う	177	13.0	14.1	99.2
	とてもそう思う	10	.7	.8	100.0
	合計	1254	92.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	108	7.9		
合計		1362	100.0		

【問２１】 あなたの地域（合併前の旧市町）にもっと観光客が来てほしいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	16	1.2	1.3	1.3
	思わない	183	13.4	14.6	15.9
	分からない	205	15.1	16.4	32.3
	思う	728	53.5	58.2	90.5
	とてもそう思う	119	8.7	9.5	100.0
	合計	1251	91.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	111	8.1		
合計		1362	100.0		

【問２２】市外の人に、豊岡市を、訪れる価値のあるまちとして勧めたいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	23	1.7	1.9	1.9
	思わない	184	13.5	14.9	16.7
	分からない	360	26.4	29.1	45.8
	思う	618	45.4	49.9	95.7
	とてもそう思う	53	3.9	4.3	100.0
	合計	1238	90.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	124	9.1		
合計		1362	100.0		

【問２３】 現在、仕事あるいはボランティアとして、
豊岡市を訪れる観光客への「おもてなし」活動に関わっていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	77	5.7	6.3	6.3
	いいえ	1155	84.8	93.8	100.0
	合計	1232	90.5	100.0	
欠損値	システム欠損値	130	9.5		
合計		1362	100.0		

【問２３】 【「いいえ」と答えた方のみ】機会があれば、観光ボランティア・ガイドなどとして、
豊岡市の「おもてなし」に関わりたいと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	90	6.6	7.9	7.9
	思わない	511	37.5	44.7	52.6
	分からない	343	25.2	30.0	82.6
	思う	186	13.7	16.3	98.9
	とてもそう思う	13	1.0	1.1	100.0
	合計	1143	83.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	219	16.1		
合計		1362	100.0		

【問 2 4】豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？[最も魅力的]

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	城崎温泉	595	43.7	53.1	53.1
	城下町出石	68	5.0	6.1	59.2
	コウノトリ	188	13.8	16.8	76.0
	神鍋高原	28	2.1	2.5	78.5
	竹野海岸	31	2.3	2.8	81.3
	但東のチューリップ	11	.8	1.0	82.2
	自然・景観	111	8.1	9.9	92.1
	松葉ガニ	60	4.4	5.4	97.5
	但馬牛	28	2.1	2.5	100.0
	その他	1120	82.2	100.0	
欠損値	システム欠損値	242	17.8		
合計		1362	100.0		

【問 2 4】豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？[2番目に魅力的]

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	城崎温泉	208	15.3	18.8	18.8
	城下町出石	219	16.1	19.7	38.5
	コウノトリ	212	15.6	19.1	57.6
	神鍋高原	74	5.4	6.7	64.3
	竹野海岸	65	4.8	5.9	70.2
	但東のチューリップ	15	1.1	1.4	71.5
	自然・景観	87	6.4	7.8	79.4
	松葉ガニ	140	10.3	12.6	92.0
	但馬牛	81	5.9	7.3	99.3
	その他	8	.6	.7	100.0
	合計	1109	81.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	253	18.6		
合計		1362	100.0		

【問 2 4】豊岡市の魅力的な観光資源は何ですか？〔3 番目に魅力的〕

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	城崎温泉	115	8.4	10.4	10.4
	城下町出石	160	11.7	14.5	24.8
	コウノトリ	160	11.7	14.5	39.3
	神鍋高原	116	8.5	10.5	49.8
	竹野海岸	99	7.3	8.9	58.7
	但東のチューリップ	32	2.3	2.9	61.6
	自然・景観	123	9.0	11.1	72.7
	松葉ガニ	179	13.1	16.2	88.9
	但馬牛	107	7.9	9.7	98.6
	その他	16	1.2	1.4	100.0
	合計	1107	81.3	100.0	
欠損値	システム欠損値	255	18.7		
合計		1362	100.0		

【問 2 5】豊岡市の公共交通は便利だと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	282	20.7	22.6	22.6
	思わない	639	46.9	51.2	73.7
	分からない	212	15.6	17.0	90.7
	思う	115	8.4	9.2	99.9
	とてもそう思う	1	.1	.1	100.0
	合計	1249	91.7	100.0	
欠損値	システム欠損値	113	8.3		
合計		1362	100.0		

【問 2 6】日常生活で、公共交通を使うよう心がけていますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くしていない	330	24.2	26.4	26.4
	していない	576	42.3	46.1	72.5
	どちらとも言えない	190	14.0	15.2	87.7
	いている	144	10.6	11.5	99.2
	大変している	10	.7	.8	100.0
	合計	1250	91.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	112	8.2		
合計		1362	100.0		

【問 2 7】あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？[最も必要]

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	バス	564	41.4	51.8	51.8
	特急バス	49	3.6	4.5	56.3
	タクシー	47	3.5	4.3	60.7
	乗合タクシー	97	7.1	8.9	69.6
	鉄道	275	20.2	25.3	94.9
	飛行機	30	2.2	2.8	97.6
	その他	26	1.9	2.4	100.0
	合計	1088	79.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	274	20.1		
合計		1362	100.0		

【問 2 7】あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？[2番目に必要]

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	バス	245	18.0	24.4	24.4
	特急バス	144	10.6	14.3	38.7
	タクシー	160	11.7	15.9	54.6
	乗合タクシー	199	14.6	19.8	74.4
	鉄道	206	15.1	20.5	94.8
	飛行機	42	3.1	4.2	99.0
	その他	10	.7	1.0	100.0
	合計	1006	73.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	356	26.1		
合計		1362	100.0		

【問 2 7】あなたの地域にはどのような公共交通が必要だと思いますか？[3 番目に必要]

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	バス	102	7.5	11.2	11.2
	特急バス	118	8.7	13.0	24.3
	タクシー	233	17.1	25.7	49.9
	乗合タクシー	155	11.4	17.1	67.0
	鉄道	174	12.8	19.2	86.2
	飛行機	97	7.1	10.7	96.9
	その他	28	2.1	3.1	100.0
	合計	907	66.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	455	33.4		
合計		1362	100.0		

【問 2 8】ビジネス・レジャー等の際の主な移動手段についてお聞きします。

(1) 大阪・神戸方面へ出かけるとき、主にどの移動手段を利用しますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	鉄道	381	28.0	33.2	33.2
	バス	52	3.8	4.5	37.8
	自動車	686	50.4	59.9	97.6
	飛行機	11	.8	1.0	98.6
	その他	16	1.2	1.4	100.0
	合計	1146	84.1	100.0	
欠損値	システム欠損値	216	15.9		
合計		1362	100.0		

【問 2 9】豊岡市は子育て世帯が住みやすいまちだと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	64	4.7	4.9	4.9
	思わない	279	20.5	21.2	26.0
	分からない	610	44.8	46.2	72.3
	思う	347	25.5	26.3	98.6
	とても思う	19	1.4	1.4	100.0
	合計	1319	96.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	43	3.2		
合計		1362	100.0		

**【問３０】 現在、仕事またはボランティアとして、
子育てサポートや地域の子ども会イベントなどの活動に関わっていますか？**

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	はい	221	16.2	17.0	17.0
	いいえ	1078	79.1	83.0	100.0
	合計	1299	95.4	100.0	
欠損値	システム欠損値	63	4.6		
合計		1362	100.0		

【問３０】 【「いいえ」と答えた方のみ】機会があれば、これらの活動に関わってみようと思いますか？

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	68	5.0	6.3	6.3
	思わない	340	25.0	31.7	38.0
	分からない	405	29.7	37.7	75.8
	思う	246	18.1	22.9	98.7
	とてもそう思う	14	1.0	1.3	100.0
	合計	1073	78.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	289	21.2		
合計		1362	100.0		

【問３１】 あなた自身、あるいはあなたの周囲で子育てをしている方は、市の子育て支援サービスを活用していますか？（現在子育て中の方はご自身のことについて、そうでない方は周りの方の様子についてお答えください。）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全くしていない	45	3.3	3.5	3.5
	していない	181	13.3	14.2	17.7
	分からない	733	53.8	57.4	75.1
	活用している	296	21.7	23.2	98.3
	頻繁に活用している	22	1.6	1.7	100.0
	合計	1277	93.8	100.0	
欠損値	システム欠損値	85	6.2		
合計		1362	100.0		

【問３２】 あなた自身、あるいはあなた周囲で子育てをしている方は、子育てを楽しんでいますか？
 （現在子育て中の方はご自身のことについて、そうでない方は周りの方の様子についてお答えください。）

		度数	パーセント	有効パーセント	累積パーセント
有効	全く思わない	16	1.2	1.2	1.2
	思わない	97	7.1	7.5	8.7
	分からない	674	49.5	52.1	60.9
	思う	444	32.6	34.3	95.2
	とてもそう思う	62	4.6	4.8	100.0
	合計	1293	94.9	100.0	
欠損値	システム欠損値	69	5.1		
合計		1362	100.0		

4. テクニカル・ノート

4. 1 相関分析

ふたつの連続変数（＊１）の間に、単なる偶然ではない関係——即ち「統計的に有意な関係」——が存在するかどうかを確認するための分析手法を相関分析という。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準（ p ）」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が誤推定である確率が 5%以下である場合、「統計的に有意な分析結果」であると判断する。

また、相関関係の強さは「 r 」であらわされ、「相関関係が全く無い」ことを示す「 $r = 0$ 」から、「非常に強い関係がある」ことを示す「 $r = 1$ 」あるいは「 $r = -1$ 」までの値をとる。

「 $r = 0$ 」から「 $r = 1$ 」までの正の相関関係は、「一方が増えれば他方も増える」という比例的な関係をあらわし、「 $r = 0$ 」から「 $r = -1$ 」までの負の相関関係は、「一方が増えると他方は減る」という反比例関係をあらわす。

通常、「 r 」が「0.7～1.0」程度であれば「強い相関関係」、「0.4～0.6」程度であれば「中程度の相関関係」、「0.3 以下」であれば「弱い相関関係」があると判断する。

r	-1 … -0.7 … -0.6 … -0.4 … -0.3 … 0 … 0.3 … 0.4 … 0.6 … 0.7 … 1.0
関係の強さ	(負)強い～～(負)中程度～～(負)弱い～～無関係～～(正)弱い～～(正)中程度～～(正)強い

（＊１）身長や体重のように、連続した数値で計測できる変数を連続変数と呼ぶ。データの分散上の特性から、例えば、男女を {0, 1} であらわすような変数（ダミー変数、二値変数等と呼ぶ）とは区別される。本報告書で行った相関分析（ピアソンの相関分析）は連続変数に対する分析手法である。

4. 2 t 検定

ふたつのグループの平均値の差が、単なる偶然による差異ではない——即ち「統計的に有意な差」——であるかどうかを確認するための検定方法のひとつに t 検定がある。「統計的に有意な分析結果」であるかどうかは、「有意水準（ p ）」によって示され、この値が 0.05 よりも小さい場合、即ち分析の結果が誤推定である確率が 5%以下である場合、「統計的に有意な分析結果」であると判断する。

統計的な有意差があるかどうかを判断するために、ふたつのグループのデータから「t 値」と呼ばれる指数と「自由度（degree of freedom: df）」と呼ばれる値を算出し、これらの値に基づいて有意性の判断を行う。「t 値」や「df」が十分大きい場合、「有意水準（ p ）」は小さくなり、ふたつのグループの平均値の差は「統計的に有意」になる。